

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称) 柏市中央計画 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境						0.40		-	3.4
1 音環境					3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.3	0.50	
1		開口部遮音性能	界壁の壁厚を180mm以上とし、木下地二重壁によりDr-50を確保		3.0	1.00	3.0	0.30	
2		界壁遮音性能			-	-	4.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.3	0.35	3.3	1.00	3.3
2.1 室温制御					3.7	0.50	3.7	0.50	
1		室温	住宅性能表示基準における等級5相当である		3.0	0.63	3.0	0.63	
2		外皮性能			5.0	0.38	5.0	0.38	
3		ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式					1.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					1.9	0.25	3.8	1.00	3.6
3.1 昼光利用					4.2	0.30	4.6	0.50	
1		昼光率	住居部:2.0%≦昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2		方位別開口			-	-	5.0	0.30	
3		昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.50	
1		昼光制御	カーテンと庇にて昼光制御している		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1		化学汚染物質	建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1		換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2		自然換気性能			-	-	3.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1		CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2		喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					2.4	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1		広さ・収納性	各住戸で1Gbitのブロードバンドが利用可能		-	-	-	-	
2		高度情報通信設備対応			-	-	5.0	1.00	
3		バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1		広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2		リフレッシュスペース			2.0	-	-	-	
3		内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					4.0	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定		5.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	給水:PEP(B)、汚水排水及び雑排水:VP(B)、Eは不使用		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	
1		空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3		電気設備			3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		2.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能表示基準における等級5相当である	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.75	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材を容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明は行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	